



国際ロータリー第2740地区 長崎北東ロータリークラブ

2024~2025年

週報第19号

(通算2314号)

例会:令和7年1月22日

四つのテスト 言行は、これに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



会長エレクト
岩永 城児



会長挨拶 西岡克之

学校給食

78年前の1月20日、学校給食が全国的に始まりました。今回は学校給食についてお話しさせていただきます。1889年山形県の小学校で子供たちに出された食事が日本で最初の学校給食とされています。その後、全国的に各地で給食を出す学校が徐々に増えてきましたが、第二次世界大戦による食料不足を理由に中止せざるを得なくなりました。その後1947年1月20日から学校給食がスタートしました。当時は今の様な豊富なメニューではなく、トマトシチューと脱脂粉乳だけでしたが、それでも子供たちにはご馳走でした。その後、食料事情の回復とともに、コッペパンやクジラの肉に変わり、更に時代が変わると、カレーライスやスパゲッティなども登場するようになりました。現代の給食は、食べるだけでなく、「食育」について学ぶようになりました。全国の給食には、その地域しか出せないご当地メニューが多くあります。山形県の芋煮、山梨県のほうとう、長崎県では、皿うどんなどが登場しています。ユニークなのは、鳥取県大山町では、農作物を害するイノシシを駆除した肉を使うジビエ給食が提供されています。世界で初めて給食を実施したのはドイツで、18世紀にミュンヘンの貴族が、貧しい児童に食事を与えたことがきっかけだと言われています。アメリカではbuffetスタイルで、好きな物を取っていますが、サラダは絶対に取らなければなりません。フランスでは、コース料理と同じく前菜、主菜、副菜、デザート、パンの外、肉料理もあります。外、アフリカなどでも提供されています。

【幹事報告】

●第3期諸会費振替を1月24日(金)に十八親和銀行浦上駅前支店で予定しています。明細書、請求書をご確認ください。

●2月5日(水) 職場訪問 長崎県庁
12時30分にヒルトン長崎に集合してください。昼食後移動します。県庁の駐車場、もしくは近隣の駐車場をご使用ください。後日領収書の提出をお願い致します。出欠表の記入も宜しくお願いいたします。

●2月11日(火)祝日、長崎北東ロータリークラブ杯 長崎県高等学校ラグビー三地区対抗戦が、大村放虎原ラグビー場で開催予定です。応援参加を宜しくお願いいたします。



幹事
森 正

●1月29日(水) イニシエーションスピーチ
梶岡研士会友

今後の
予定

●2月5日(水) 職場訪問 長崎県庁

●2月12日(水) 休会



国際青少年交換委員長 徳永隆信様: 青少年交換委員会 委員長 徳永です。これから2年間お世話致します。宜しくお願いします。少額で申し訳ございません。



ニコニコ発表
吉田会友

西岡: 加藤様の新入会を歓迎します。国際青少年交換委員長 徳永様、本日は御来訪ありがとうございます。ごゆっくりおすごし下さい。

森(正): 国際青少年交換委員会 徳永隆信様、本日は、ご来訪ありがとうございます。

岩永(信): 地区国際青少年交換委員長の徳永様、ご来訪ありがとうございます。色々とお世話になります。

大坪: 先日の新年例会、楽しかったです。どんどん亭の小林さんお世話になりました。おいしい食事ありがとうございました。

久保田: 加藤貴大様、よ〜こそ!! 北東RCへ!! 私のおすすめで入会した事にしといて下さい。私は優しいので、何か困った時は私に何でも言って下さい。まちがっても長与の悪徳不動産のIさんには相談しない様に。これからよろしくお祈りしま〜す。

坂本: 本日もよろしくお祈りします。

田中: お久しぶりです。新入会員 加藤様、ようこそです。

辻村: 国際青少年交換委員長 徳永隆信様、御指導宜しくお願い致します。

西村: 徳永隆信委員長、本日はご来訪ありがとうございます。加藤貴大会友、ご入会おめでとうございます。法令にしたがって行動する北東ロータリーですが、一部全く守れない会友(となりの席に)がいますので、その時はすぐにしかって下さい。

浜中: 新年会に参加できなかったのが、今年初めての参加です。正月はおだやかで平和に過ごしました。今年もよろしくお祈り致します。誕生日祝ありがとうございました。

宮口: 本日もよろしくお祈りします。

宮崎: 今期もあとわずか。年も明けて年度末に向けて皆さん大変だとは思いますが、お身体に気をつけて頑張りましょう。本日も宜しくお願いします。

吉田: 誕生日、結婚記念日、入会記念の皆さま、おめでとうございます。本日の卓話、国際青少年交換委員長 徳永隆信様 よろしくお祈りいたします。

小計: 14名/¥34,000 累計: 227名/¥523,000

本日のご来訪者

国際青少年交換委員会 委員長 徳永 隆信様

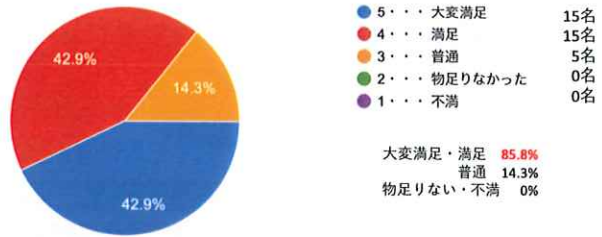
卓話



国際青少年交換委員会
委員長 徳永 隆信様

セミナー参加 満足度

調査対象・・・セミナー参加者：地区役員 51名



自己紹介 徳永 隆信

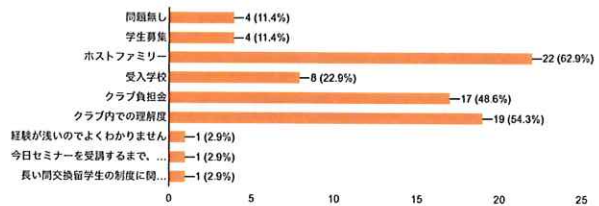
- ・昭和42年生まれ(57歳)
- ・幸楽窯 徳永陶磁器株式会社 代表取締役
- ・有田ロータリークラブ 2016年入会
- ・祖父が有田RCチャーターメンバー
子供心に祖父の胸元に光るバッジと一流ホテルのロータリーマークを見て、素晴らしいクラブなんだと憧れてました。

質問3.あなたのクラブは、セミナーを聞いて交換学生プログラムに参加出来るようになりますか？



今一度 国際ROTARY 2740地区 青少年交換委員会について 一緒に考えてみよう

質問4.あなたのクラブでは、まだ不十分だと思う点をお選びください。



- ・2024年4月17日
- ・交換委員会セミナー

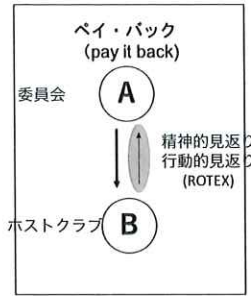


新システムの説明と、新たな提案。
留学生OBから交換留学についての意義・候補生の留学先発表。
参加したロータリアンへ、感謝の気持ちを伝えました。

交換委員会ができる事

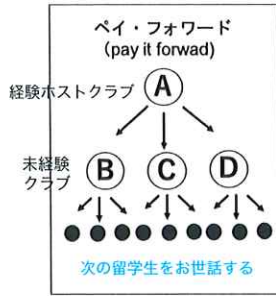
- 1、ロータリーは親睦団体と見られてるのは勿体ない。
- 2、今後の会社運営において地元貢献をアピールすることは重要。
- 3、人材確保に向けて地元の高校生にアピールできる。
- 4、ロータリアンの子息が参加出来る唯一のプログラム。後継者育成！
- 5、地元の優秀な子供に郷土愛を植え付ける。将来のU-ターンを促す。

これまでのスタイル
無償の奉仕・隠徳の美



『受け取る・与えるのバランスが取れているか』・・・継続の秘訣

これからのスタイル
無償の奉仕・隠徳の美だけれども



『自分の出来る範囲で次に渡す』・・・継続の秘訣

・今期2023年度からの取組について

承認機関(3箇所)の情報共有を徹底

発信する側、受け取る側を勝手に判断したり決めつけない。3箇所の承認機関が、常日頃というやりとりがはまっているの**リアルな情報を閲覧**できるようにする。

・交換委員会は、それを可能とするLINEWORKSを使って仕組みを構築し、他の承認機関が経緯を避れるように履歴を残す。ホストファミリーや学生にも承認機関は3箇所あることの意識を徹底させる。

・ホストクラブは、認証機関であっても安易にホストファミリーからの質問や意向に一言で認めることを控え、必ず交換委員会・ガバナー事務局へ情報共有・認証を求めるようにする。

・ガバナー事務局は、交換委員会に常日頃の行動指針を一任しても良いが、動向を監視し「知らない・聞いてない」という受動的な姿勢にはならず、経緯報告という努力が掛かる仕事を交換委員会に求めないようにする。

これらを1年間こなせば経験が蓄積され、翌年度以降新規メンバーも活用しやすい。

3. 国際青少年交換の目的と原則及び条件

(1) 青少年交換の目的と原則

①このプログラムはガバナーの指導の下に、地区対地区の交換を原則とし、言葉の違うクラブ対クラブ・クラブ対地区が行なう国際奉仕としては**最上級の難易度**となります。
②交換学生は外国で決められた期間(短期または1か年の長期の2種類)正規の学校に入学して勉強することになっています。

③数あるロータリー奉仕プログラムで唯一、ロータリアンの子弟が参加できる**ロータリープログラム**です。ただし、同時に学生を派遣するのは地域社会の青少年に対する奉仕でもありますので、ロータリアンの子弟でない一般の青少年もロータリアンの子弟と同じように扱うことになっています。

④語学を学ぶだけの留学と違います。【地区の親善大使】として、自国の文化を届け外国の文化を学び、国際感覚を自分だけの物とせず**多くのロータリアンと共有するプログラム**です。

LINEWORKSを使えば、2アクションで複数箇所へ同時連絡可能!

【超重要】
情報は1つでも、連絡・承認は**3箇所**です!

- ① 支援金と地元 ホストクラブ
- ② 知識と外国語 ソークラブへの配慮 交換委員会
- ③ 地区統括と危機管理 ガバナー事務局

実際に見つけた1箇所のトークグループへ投稿

委員会での経験とサポートが活かされました
送迎協力 出来そうです
天気は雨 服装注意!

2 交換委員会

送迎手伝って 見えませんか?
ホストファミリー

知らない質問で 悩むよりグループで 相談すれば簡単
1 担当 社対ア事務局

何でも解決法に 当たって 意思疎通困難!
3 ガバナー事務局 幹事

Next ホストファミリー

こういう塩味の 仕方もあるのね

5. 国際青少年交換委員会 年間スケジュール

月	イベント内容(第4日曜)	その他(イベント)	備考
7月	アバウト 帰国報告会		交換委員会は、1人の学生に対して単年度構成ではなく、候補生として1年。留学生として1年。
8月	イバウト 入国歓迎会		ROTEXとして1年。合計3年付きあうこととなります。
9月	選抜テスト		
10月	地区大会参加の為休業	長崎77-	
11月	合格者説明会	鹿児島77-	
12月	クリスマス会(日時未定)		
1月	通例(アバウト完成)		
2月	通例		その間に候補生は語学だけでなく、大人社会に初めて参加した事で、目覚めるように成長します。
3月	通例(留学先決定)		
4月	お花見会(日時未定)		
5月	通例	ジャパソウター	
6月	イバウト 送別会		

2740地区として目指す国際青少年交換委員会

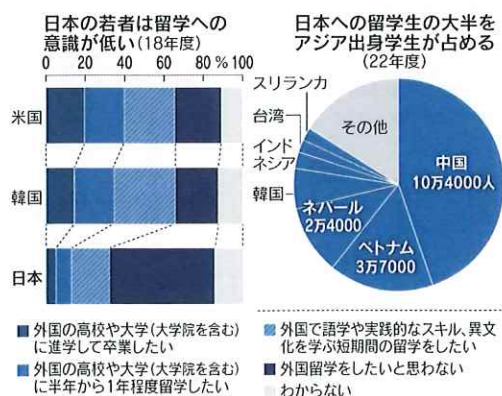
2740地区全体で、国際青少年交換プログラムを活発化するためには、まずどういった事を行っているか理解して貰う必要があります。米山はその点でも、しっかり月信に掲載していますが、これまで青少年交換委員会は特別ページを貰って広報・啓蒙・発信したことがありません。これまで議事録を書く手間も無く、情報の蓄積も出来ておりませんでした。

上記対応するための委員会メンバーを急に増やすことは困難です。

その為、時限的に事務局を設置し、委員会メンバーが増えるまでのつなぎとして体制作りを行いたいと思います。



6. 国際青少年交換委員会の存在意義 /2024留学の現状



【ロータリークラブの課題と青少年交換プログラムについて】 【長崎北東の状況】

長崎北東には新候補生として中山らんさんが参加しています。長崎北東のロータリーには辻村学友が関与しており、彼が多くの決定を行っているようです。交換留学プログラム(YEP: Youth Exchange Program)についての知識が不足しているため、卓話にて徳永委員長に卓話いただきました。

昨年4月の地区セミナーでは新たな取り組みが提案されており、当クラブとしては現状を把握し、適切なアプローチを考える必要があります。国際青少年交換プログラムの現状課題として、バブル期の費用が掛かった交換留学の制度を2年前から刷新した事を周知しなければなりません。卓話での北東ロータリー出席者の2/3が交換留学に興味が無いと委員長に伝え

ました。

【今後のテーマ】

「今一度、青少年交換プログラムを考える」というテーマを設定しました。

【ロータリークラブの現状と課題】

【現状の問題点】

現在の青少年交換プログラムでは、ホストファミリーに月4万円の負担がかかっている。10ヶ月で40万円という高額な費用が問題視されている。クラブ間での費用負担の不均衡があり、経済的に余裕のあるクラブとそうでないクラブの間で摩擦が生じています。

【費用の見直し】

ホストファミリーへの支払いをゼロにすることも検討されている。これは、実際には自分の子供を養うのと同じで、追加の費用がかからないという考え方に基づいている。クラブによってホストファミリーへの支払い額が異なるため、統一した基準を設ける必要があります。

【説明不足の点】

以前と違いホストファミリーや学校へはホストクラブに丸投げせずに、委員会やアウトバウンド生の家族などが主体となっているので、負担は少なくなっています。

【交換留学の意義と目的】

国際社会での日本の立場を強化するため、明確なビジョンを持って交換留学を推進する必要があります。将来的には、留学経験者が地元に戻り、起業やロータリアンとして地域社会に貢献することを期待しています。

【地域社会への貢献】

地域の経済や社会に貢献できる人材を育成することが重要であり、交換留学はその手段の一つとして位置づけられている。

ます。地元に戻ることを促進するための受け皿作りが必要です。

<<ロータリークラブの認知度と活動>>

【現状の認識】

ロータリークラブの活動が十分に認知されていないという問題があり、一般社会から認知度が低く、クラブの活動がゴルフや親睦会に偏っているというイメージがあります。改善策として、地域社会におけるロータリークラブの役割を明確にし、活動を広く認知させボランティアや親睦と共に、経営者としてロータリークラブに入るメリット(地域におけるビジネスネットワーク・自社の存在意義・人材雇用・後継者育成)を考える必要があります。そして、新しいメンバーを迎え入れ、クラブの活動を活性化させる必要があります。

【地方のロータリークラブの課題】

地域は資源を持ちながらも、インバウンド産業を育てずに沈んでいく懸念がある。地域の暮らしをつくるためには、人材育成が重要であり、具体的なプランの策定が必要。

近年、日本の国力が下がり、『国力が下がると英語が必要になる』日本の経済力は相対的に弱まりつつあり購買力が減っているので、世界から日本語表示は減少、SNSなどITプラットフォームから日本語は消えつつある。金にならない言語には当然投資されない。仕事をやる上で日本語の必要性が下がり、英語の必要性が上がってゆく、という言われも正しいかもしれませんが、今からでも遅くないので、このロータリーの素晴らしいプログラムを継続して日本の国力向上の一助にらんことを願っております。

現状のロータリークラブの課題を解決するために、交換委員会が重要な役割を果たせると感じております。今年4月のセミナーは、交換留学に興味の無い人に向けて行います。多くの参加をおまちしております。

1月にお祝いを迎えられる方

誕生日をお迎えになられた会友



1月1日 大坪会友



1月14日 田中会友



1月20日 浜中会友

加藤 貴大会友の入会式



司会/西村泰徳
写真撮影/宮崎 博

創立/昭和49年4月30日
承認/昭和49年5月22日
例会日/毎週水曜日12:30~13:30
例会場/ザ・グローバルビュー長崎

事務局/長崎市目覚町8-11-301
TEL843-6635/FAX845-9411
URL <http://nerotary.org/>

本日のメニュー



	全員総数	Home Club 出席数	Home Club 欠席数	Make-up	免除者	修正出席率	出席率
12月18日	37	23	11	3		73.5	
1月22日	38	25	11		2		69.4

月間出席率		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度		73.1	85.7	77.3	71.7	74.3	77.8	68.9	83.5	79.9	78.8	78.8	81.3
本年度		79.4	84.1	83.8	74.3	83.4							